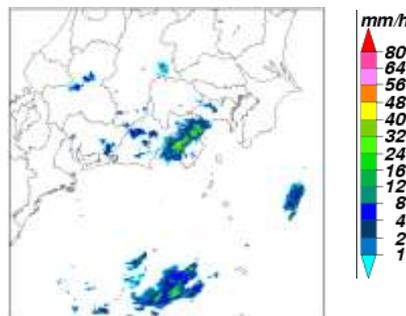
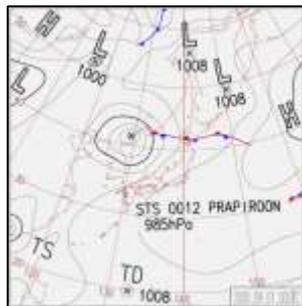


1. 気象経過

台風第12号は、8月31日から9月1日にかけて日本海へ北東進していた。31日には台風東側の積乱雲が北上し、四国や紀伊半島など太平洋側の南斜面の所々で激しい雨となった。県内では、31日には上空1500m付近で南風となり、山沿いから山地を中心に断続的に激しい雨となった。1日には、上空1500m付近では南西風に変わり、湿った風と地形の影響で雨雲が発生・発達し、猛烈な雨となった。



2000年9月1日9時
地上天気図

2000年9月1日
7時0分気象レーダー

2. 大雨の原因、特徴

上空1500m付近の風が南西風となり、一時的に南西－北東方向に線状分布となった積乱雲が北東進し、沼津市周辺域にしばらくかかり続けたため、局地的に猛烈な雨となった。この風向により線状分布となることは珍しくないが、猛烈な雨が降るにはそれだけの水蒸気量が必要となる。1日9時浜松(防衛省)上空1500m付近の相当温位*は348Kで、この非常に湿った気流が要因と考えられる。

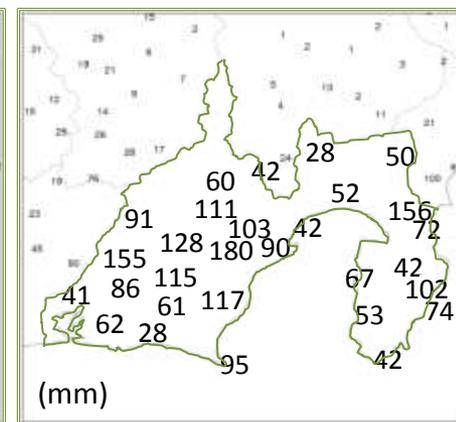
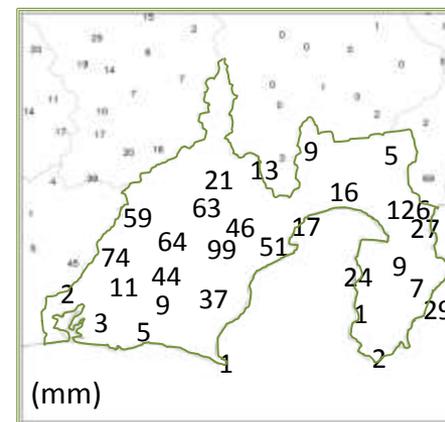
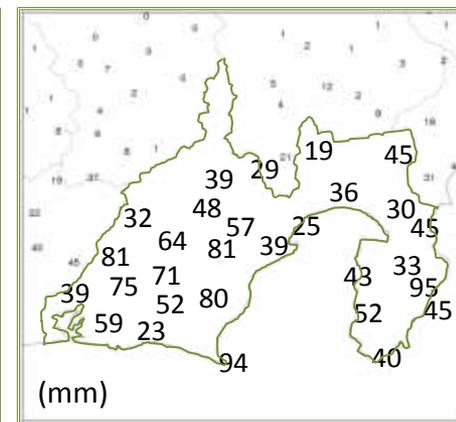
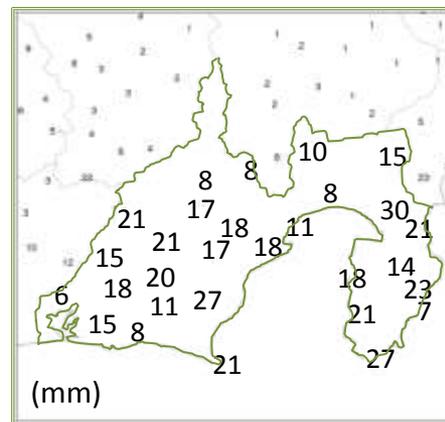
※相当温位: ある高さの空気塊のエネルギーを同じ条件下(1000hPa気圧面)で比較するため換算したものの。暖候期の高度1500m付近の相当温位の目安としては、330Kを越えると短時間強雨の可能性が高まり、340Kを越えると大規模な災害が発生するような大雨に警戒が必要となってくる。単位は絶対温度(K:ケルビン)

3. 被害概要

	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 損壊 (棟)	死者 (人)	重傷 者 (人)	軽傷 者 (人)	崖崩 れ (カ)	土砂 崩 れ (カ)	河川 決 壊 (カ)	鉄道 不通 (カ)
全県	1	32	0	0	0	0	0	0	2	0	12	1
中部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
東部	1	32	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
伊豆	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-

被害数は、静岡県 平成12年における災害の状況による

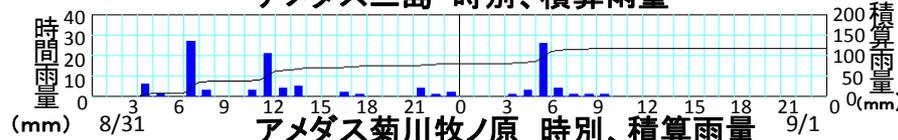
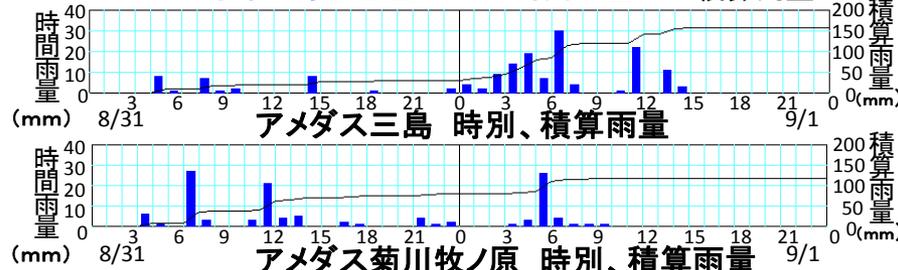
4. アメダス雨量分布図



アメダス日雨量
9月1日

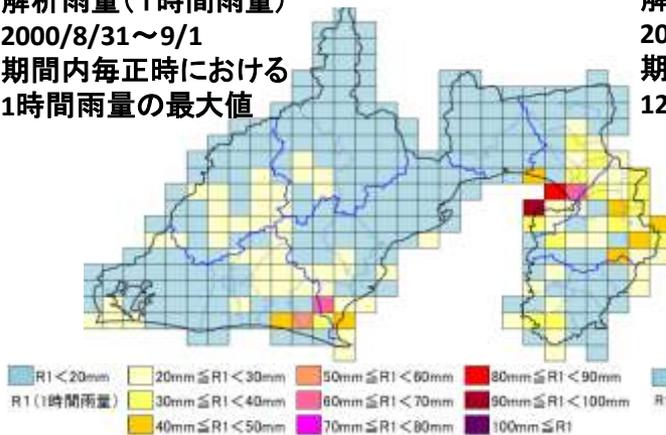
アメダス2日間雨量
8月31日～9月1日

5. アメダス時系列変化図

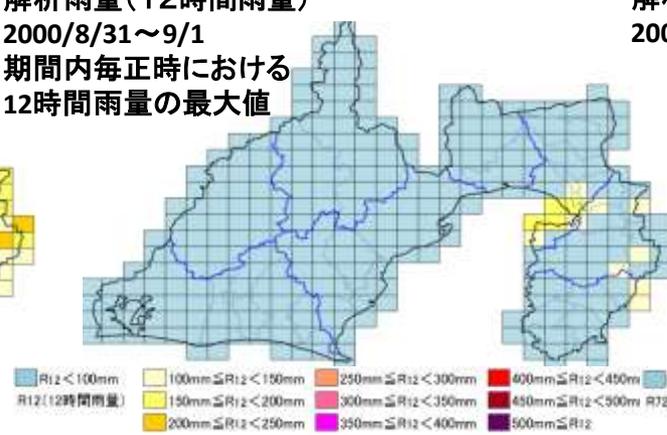


6. 解析雨量分布図

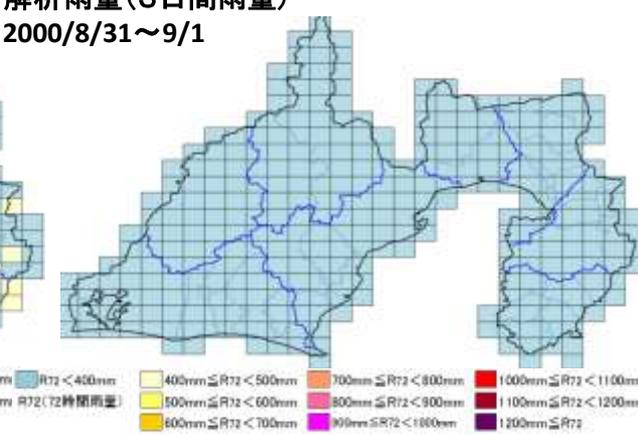
解析雨量(1時間雨量)
2000/8/31~9/1
期間内毎正時における
1時間雨量の最大値



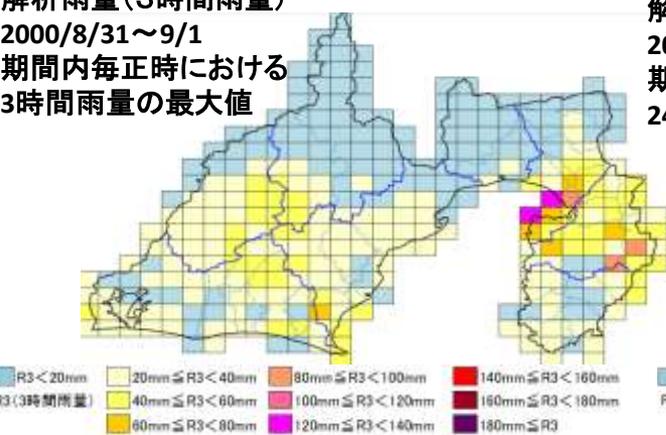
解析雨量(12時間雨量)
2000/8/31~9/1
期間内毎正時における
12時間雨量の最大値



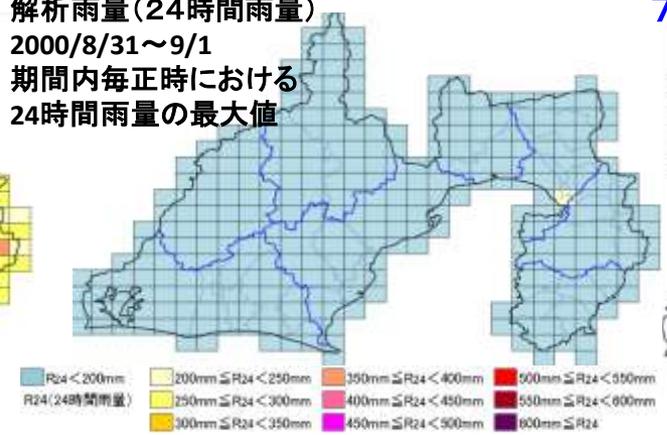
解析雨量(3日間雨量)
2000/8/31~9/1



解析雨量(3時間雨量)
2000/8/31~9/1
期間内毎正時における
3時間雨量の最大値



解析雨量(24時間雨量)
2000/8/31~9/1
期間内毎正時における
24時間雨量の最大値

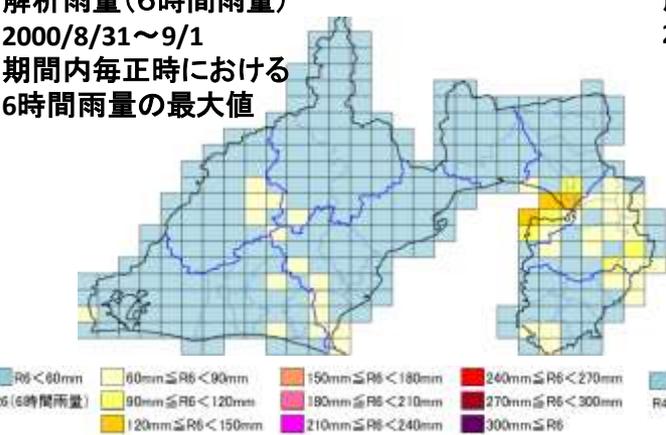


7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)

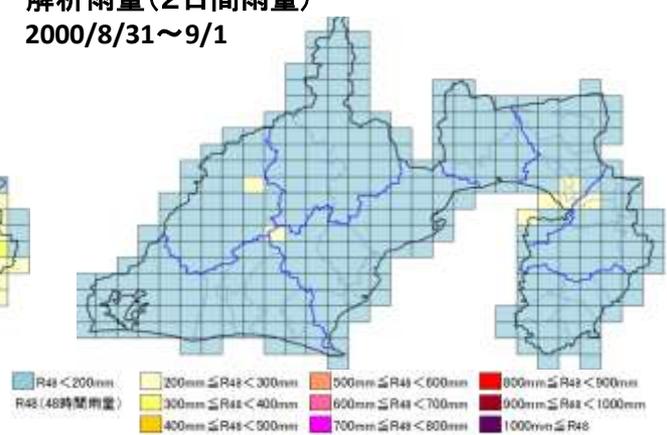


被害数は、静岡県 平成12年における災害の状況による

解析雨量(6時間雨量)
2000/8/31~9/1
期間内毎正時における
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)
2000/8/31~9/1



解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

富士山南東で浸水害が発生したが、アメダスの観測値からは、災害が発生させるだけの降水量となっているか不明である。しかし、解析雨量によると、猛烈な雨であったことが確認できる。